

**決算説明資料
(2010年度)**

2011年 6月10日

 **株式会社 重松製作所**

2010年度 決算概要

2010年度の総括

●当年度のわが国の経済は、政府の景気対策や海外経済の改善等を背景に、緩やかな回復傾向を示してきたものの、民間設備投資の抑制や厳しい雇用・所得環境が続く等、景気は依然として先行き不透明感を払拭できない状況で推移してきました。加えて、本年3月に発生した東日本大震災の被害は甚大であり、今後の景気動向に大きな影響を与えることが予想されます。

●このような厳しい事業環境の中、当社の受注状況は、主要顧客である民間製造業からの受注が第2四半期以降やや伸び悩んだものの、期初からの積極的な販売拡大活動の成果もあり、当年度の売上高は、86億96百万円と、前年度との比較では53百万円の増加となりました。

●一方、費用面では、前年度に引き続き、生産の効率化及び製造原価の低減に取り組みましたが、新製品開発に伴う減価償却の負担増加等もあり、売上原価は前年度比で1億1百万円の増加となりました。また、販売費及び一般管理費も、引き続き諸経費削減に取り組みましたが、営業活動強化に伴う支出増が避けられず、前年度比で78百万円の増加となりました。

●以上のことから、利益面では、営業利益は前年度比1億26百万円減の2億51百万円、経常利益は前年度比1億32百万円減の1億85百万円となりました。また、現本社社屋の土地及び建物の譲渡に伴う特別利益4億5百万円を計上したことから、当期純利益は前年度比1億50百万円増の3億40百万円と、大幅な増益となりました。

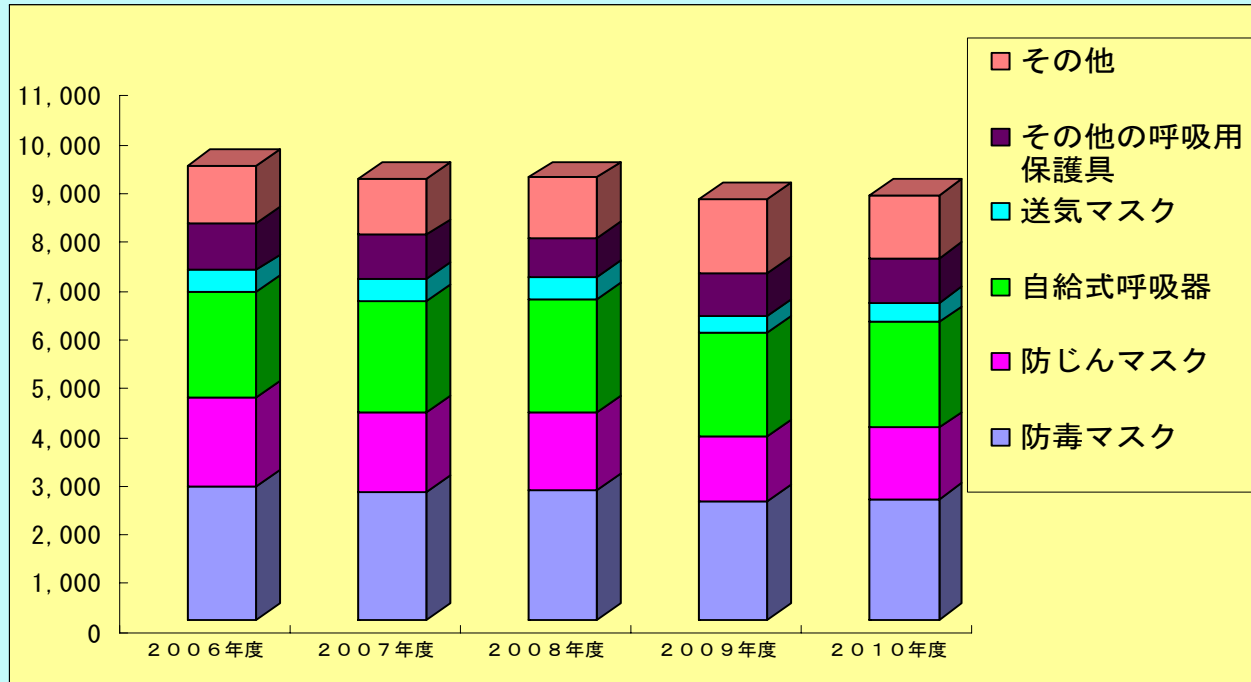
2010年度 損益の状況

(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

	2008年度	2009年度	2010年度		
			実績	前々期比増減	前期比増減
売上高	9,072.8	8,643.0	8,695.7	△ 377.1	52.7
製品製造原価	4,213.7	3,676.2	3,821.0	△ 392.7	144.8
商品原価	2,526.3	2,410.3	2,366.5	△ 159.8	△ 43.9
売上原価	6,739.9	6,086.5	6,187.4	△ 552.5	100.9
売上総利益	2,332.8	2,556.5	2,508.2	175.4	△ 48.2
販売費及び一般管理費	2,160.0	2,180.0	2,257.6	97.5	77.6
営業利益	172.8	376.5	250.7	77.9	△ 125.8
営業外収益	42.8	40.3	69.9	27.1	29.7
営業外費用	105.9	100.2	135.8	29.9	35.7
経常利益	109.7	316.6	184.8	75.1	△ 131.8
特別利益	1.1	13.9	406.4	405.3	392.6
特別損失	56.8	10.9	47.2	△ 9.6	36.2
税引前当期純利益	54.0	319.5	544.0	490.0	224.5
法人税、住民税及び事業税	5.2	76.1	202.2	197.0	126.1
法人税等調整額	26.5	53.4	2.1	△ 24.3	△ 51.3
当期純利益	22.3	190.1	339.7	317.4	149.6

セグメント別売上高推移

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

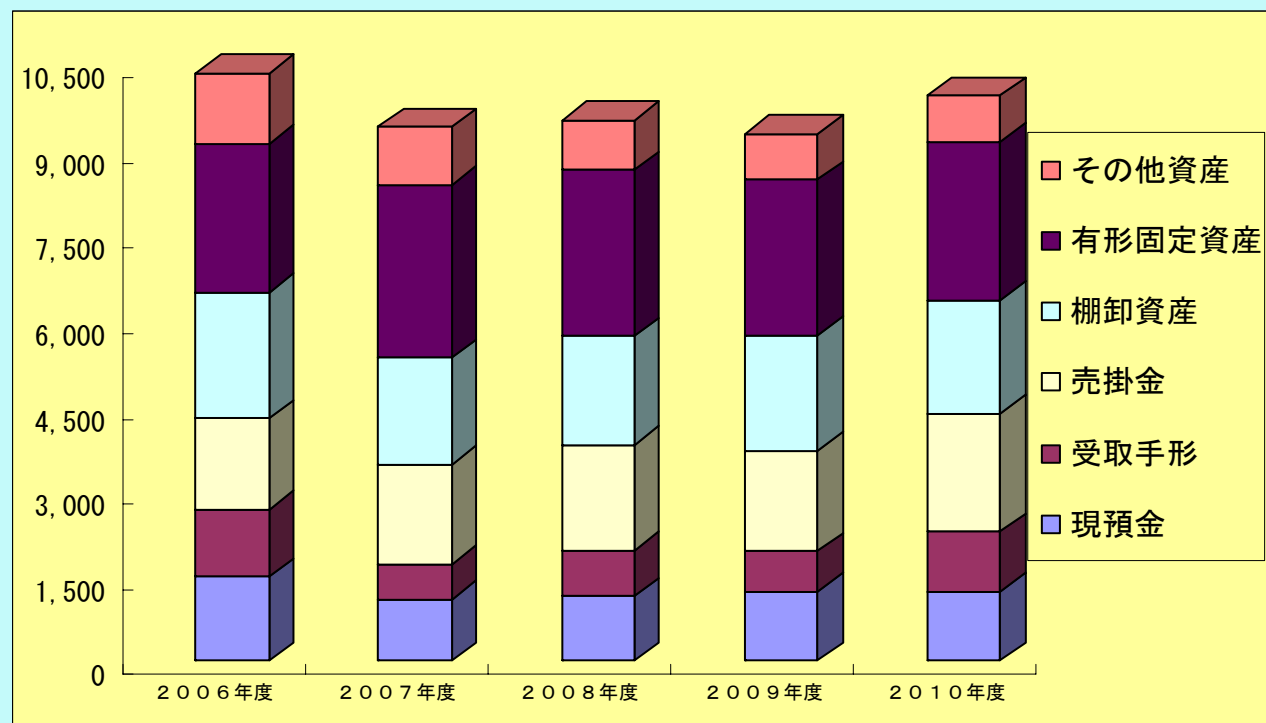
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
防毒マスク	2,742.7	2,622.8	2,658.1	2,442.1	2,489.9
防じんマスク	1,832.9	1,655.3	1,592.5	1,334.3	1,449.4
自給式呼吸器	2,149.0	2,276.7	2,340.8	2,130.0	2,165.6
送気マスク	448.5	452.2	446.8	339.7	391.2
その他の呼吸用保護具	959.8	885.1	788.0	870.7	915.7
その他	1,189.4	1,166.6	1,246.5	1,526.1	1,283.9
合計	9,322.3	9,058.7	9,072.8	8,643.0	8,695.7

当年度の特徴

- ① 当年度のわが国の経済は、緩やかな回復傾向が見られたものの、景気は依然として先行き不透明な状況で推移しました。加えて、本年3月の東日本大震災は、景気の先行きに大きな影響を与えると予想されます。
- ② このような環境の中、民間製造業の受注は伸び悩んだものの、積極的な販売拡大活動の成果もあり、売上高は、前年度比、53百万円の増加となりました。
- ③ 防毒マスク、防じんマスク、自給式呼吸器等、ほぼ全ての主要品目について、売上は増加しました。
- ④ また、前年度に大きく伸びた新型インフルエンザ等の感染症対応の受注につきましては、当年度は完全に沈静化したこともあり、売上高は、大きく減少しています。

主要資産状況推移

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
現預金	1,476.4	1,096.9	1,140.0	1,220.9	1,229.0
受取手形	1,193.6	616.7	815.3	703.4	1,053.1
売掛金	1,597.6	1,749.6	1,845.7	1,776.5	2,070.0
棚卸資産	2,218.9	1,872.1	1,920.0	2,025.1	2,005.0
有形固定資産	2,613.4	3,051.1	2,909.3	2,730.7	2,774.0
その他資産	1,240.5	1,003.2	886.1	816.7	814.8
合計	10,340.3	9,389.6	9,516.4	9,273.2	9,946.0

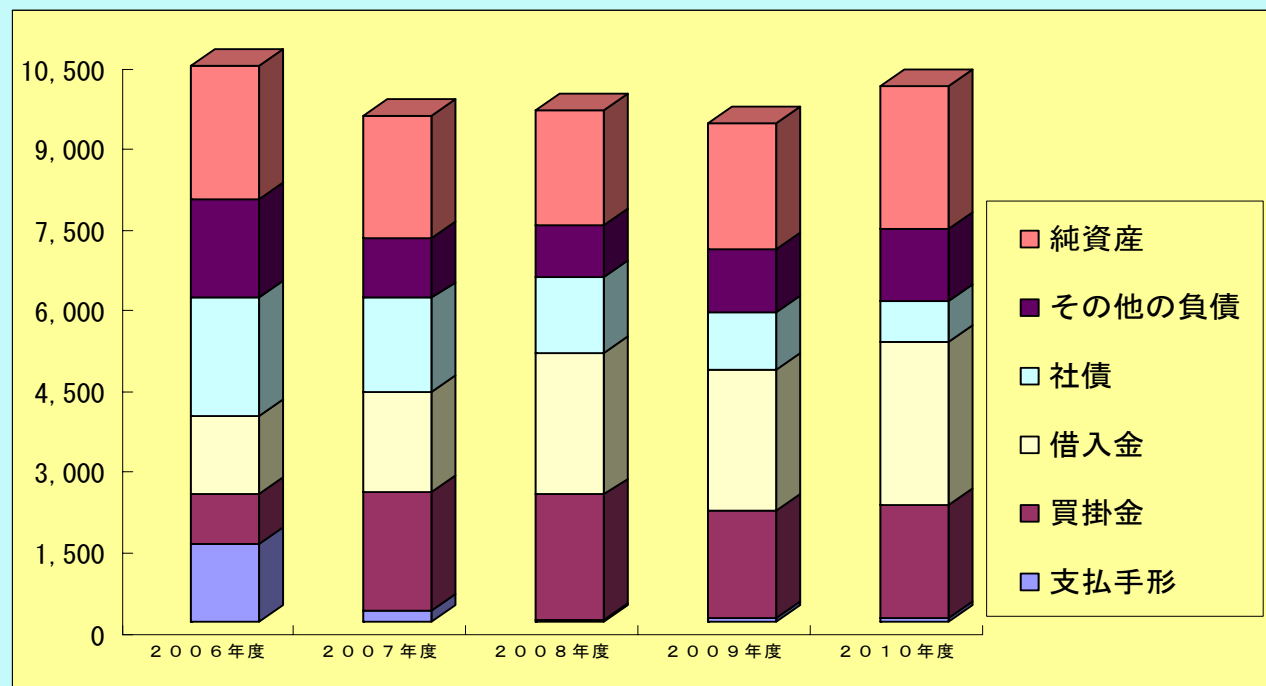
注：本表における受取手形には、手持受取手形その他、債権売却未収入金の受取手形を含んでいます。債権売却手形（資金化分）は、簿外のため含まれていません。

当年度の特徴

- ① 現預金は、前年度比ほぼ横這いで、通常の水準を維持しています。
- ② 売上債権（受取手形＋売掛金）残高は、3月末の割引手形残高の減少による受取手形残高の増加に加え、3月中旬からの東日本大震災及び原子力災害対策用呼吸用保護具の受注増加を反映して、6億43百万円増加しました。
- ③ 棚卸資産は、原材料、製品では増加しましたが、商品が大きく減少したこともあり、全体では前年度比、約20百万円の減少となりました。
- ④ 現本社の譲渡及び新本社の取得による増減差額に伴い、有形固定資産残高は、43百万円増加しました。
- ⑤ その他資産については、内訳項目に特に大きな増減はなく、全体として前年度比ほぼ横這いの水準を維持しています。

主要負債・純資産状況推移

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

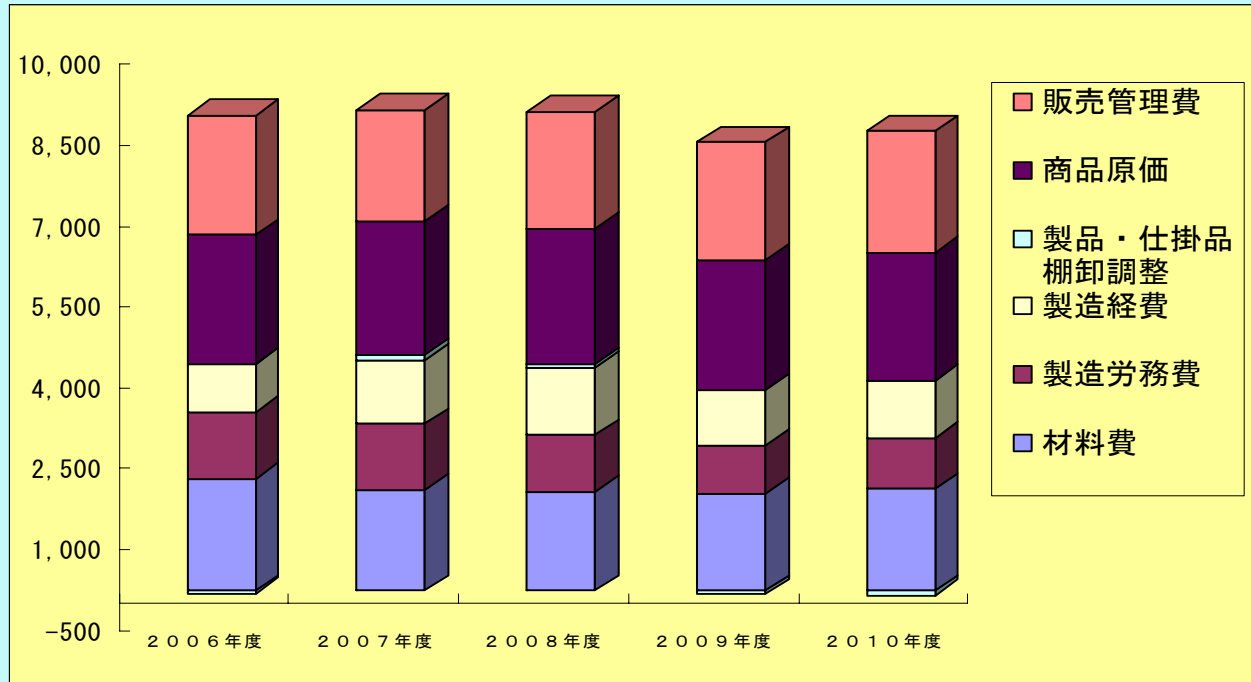
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
支払手形	1,443.2	198.4	40.4	61.2	60.6
買掛金	945.4	2,225.6	2,319.2	2,018.8	2,107.2
借入金	1,420.0	1,838.2	2,619.7	2,601.2	3,022.7
社債	2,230.0	1,743.5	1,409.7	1,075.9	772.1
その他の負債	1,805.3	1,113.7	970.5	1,168.6	1,338.6
純資産	2,496.4	2,270.2	2,157.0	2,347.5	2,644.8
合計	10,340.3	9,389.6	9,516.4	9,273.2	9,946.0

当年度の特徴

- ① 支払債務（支払手形＋買掛金）残高は、11年度の売上増加を見込んで、3月中旬以降、材料仕入を増やした結果、前年度比で増加しています。
- ② 支払手形残高は、前年度と変わりませんが、買掛金残高が増加しています。
- ③ 東日本大震災及び原子力災害の発生により、先行きの景気動向が一層不透明になったことを踏まえ、通常は期末に返済する短期借入金残高を維持したため、借入金残高は増加しました。
- ④ 未払金、未払法人税等の増加により、その他の負債は、前年度末比、約2億円増加しました。
- ⑤ 保有有価証券の評価換算差額、利益剰余金等の増加により、純資産は3億円増加しました。

売上原価・販売管理費推移

(単位：百万円)



当年度の特徴

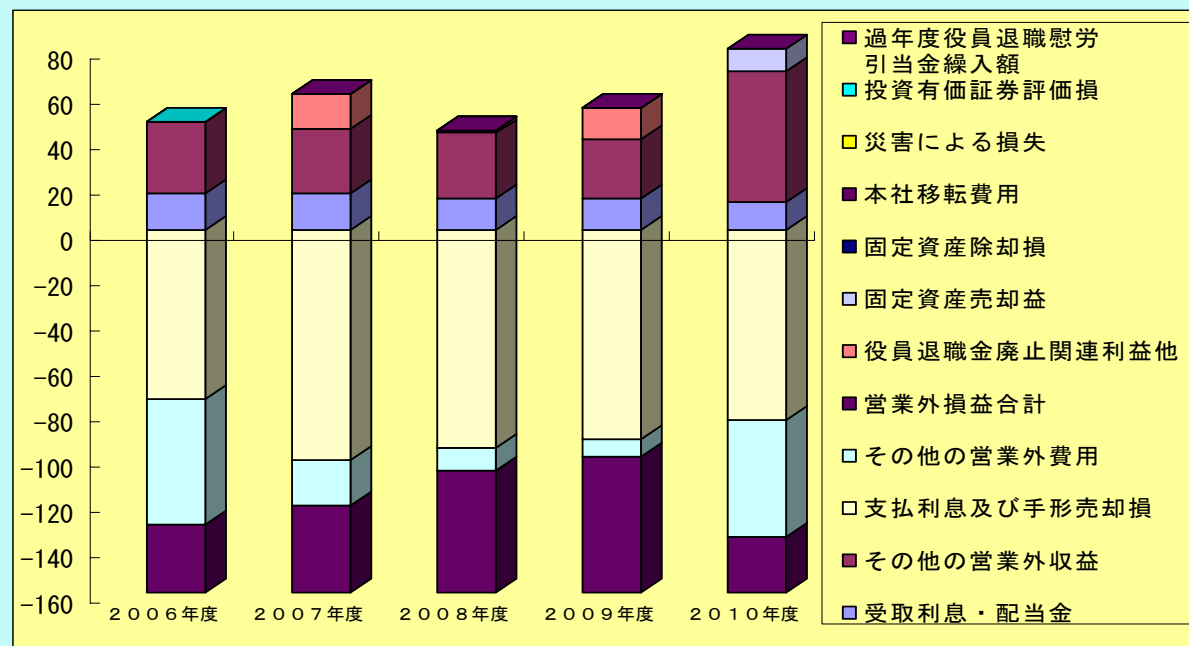
- ① 製造部門は、引き続き生産の効率化及び製造原価低減に取り組みましたが、新製品開発に伴う減価償却負担増もあり、製品製造原価率は、前年度64.9%から67.5%に上昇しました。
 - ・製造労務費は、前年度に低下した給与水準の是正もあり、前年度比で47百万円の増加となりました。
 - ・減価償却費、修繕費、器具工具消耗品費等は増加しましたが、それ以外の経費削減効果もあり、製造経費は、前年度比で28百万円の増加にとどまりました。
- ② 商品原価は、効率的な仕入に注力したこともあり、前年度に引き続き減少傾向となりました。
- ③ 販売費及び一般管理費につきましては、製造部門と同様に経費節減に注力したものの、営業活動強化に伴う支出増が避けられず、前年度比78百万円の増加となりました。

単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
材料費	2,073.6	1,870.1	1,850.4	1,800.9	1,897.7
製造労務費	1,237.6	1,228.8	1,041.5	901.3	948.4
製造経費	894.8	1,176.7	1,267.7	1,037.9	1,066.3
製品仕掛品棚卸調整	△59.6	121.2	54.0	△63.9	△91.5
商品原価	2,400.5	2,468.7	2,526.3	2,410.3	2,366.5
販売管理費	2,224.2	2,075.0	2,160.0	2,180.0	2,257.6
合計	8,771.2	8,940.5	8,900.0	8,266.5	8,445.0

営業外・特別損益推移

(単位：百万円)



当年度の特徴

- ① 受取利息・受取配当金は、前年度比でやや減少、その他の営業外収益は、補助金収入もあり、前年度比増加しました。
- ② 短期借入金の増加に伴い、支払利息は増加、割引手形の減少に伴い手形売却損は、減少しました。
- ③ 現本社の譲渡に伴う固定資産売却益4億5百万円を特別利益に計上しました。
- ④ 固定資産除却損等は、大幅に減少しました。また、本社移転費用及び災害による損失45百万円を特別損失に計上しました。

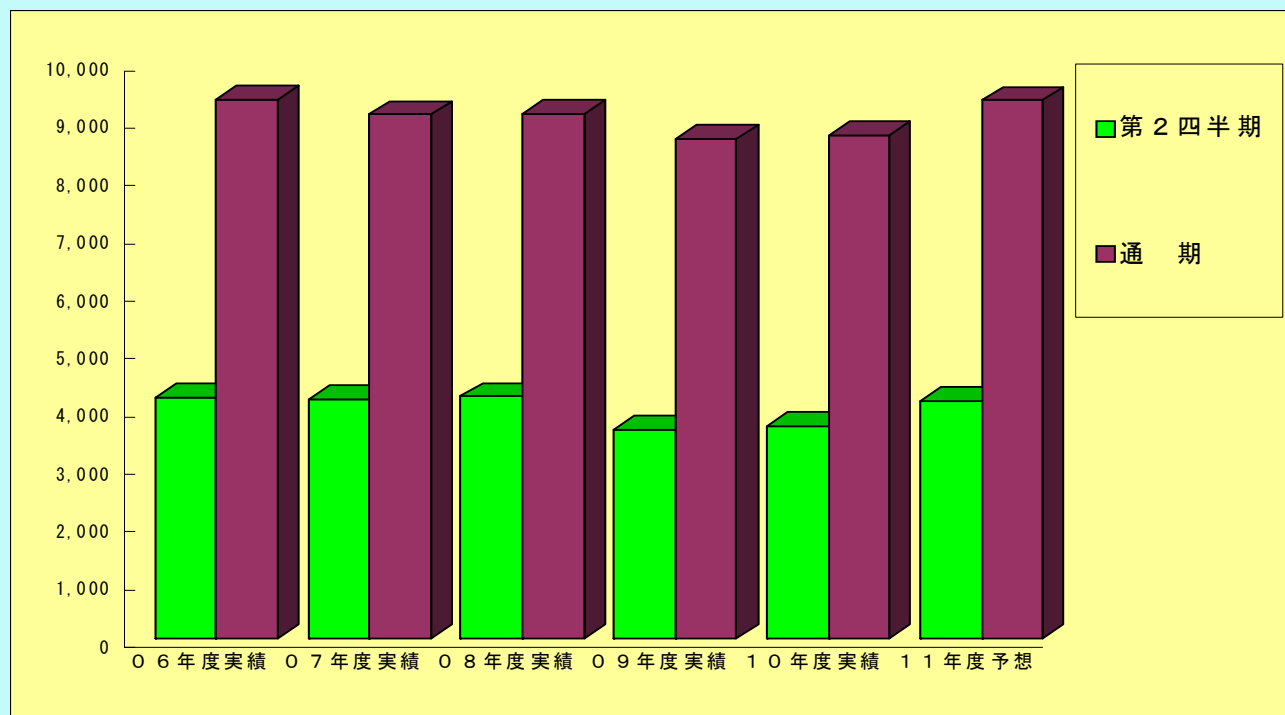
単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
営業外損益	受取利息・配当金	15.9	16.3	13.6	13.8	12.4
	その他の営業外収益	31.6	28.6	29.2	26.4	57.5
	支払利息及び手形売却損	△ 74.9	△ 101.4	△ 95.9	△ 92.3	△ 84.1
	その他の営業外費用	△ 55.1	△ 20.4	△ 10.01	△ 7.9	△ 51.7
	営業外損益合計	△ 82.4	△ 76.9	△ 63.	△ 59.9	△ 65.9
特別損益	役員退職金廃止関連利益他	0.0	15.2	1.1	14.0	0.5
	固定資産売却益	—	—	—	—	405.9
	固定資産除却損等	△ 2.6	△ 24.5	△ 56.8	△ 10.9	△ 1.5
	本社移転費用	—	—	—	—	△ 40.6
	投資有価証券評価損等	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.9
	災害による損失	—	—	—	—	△ 4.2
	過年度役員退職慰勞引当金繰入額	△ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特別損益合計	△ 22.6	△ 9.4	△ 55.7	2.9	359.2	

2011年度 業績予想

2011年度の売上予想

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点未満四捨五入

	06年度実績	07年度実績	08年度実績	09年度実績	10年度実績	11年度予想
第2四半期	4,153	4,140	4,179	3,602	3,677	4,100
通期	9,322	9,059	9,073	8,643	8,696	9,300

予想のポイント

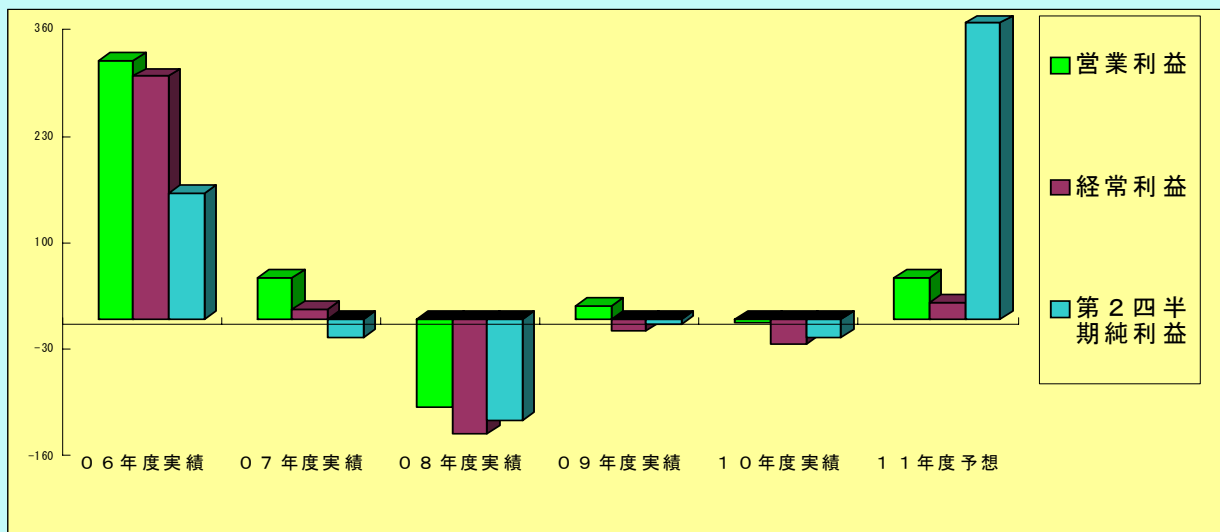
2011年度におけるわが国経済は、東日本大震災及び原子力災害が経済全体に与える影響は大きく、短期的には国内の経済活動への悪影響は避けられず、その復興・復旧には長期間を要すると考えられることから、景気の先行きは、これまで以上に不透明な状況で推移していくものと見込まれ、当社もその影響は避けられないと思われまます。

その一方で、今後の復興・復旧の過程における危機管理の様々な局面で、呼吸用保護具の需要は継続して増加していくと見込まれます。以上のような事業環境を総合的に勘案し、2011年度の売上高は、前年度比7.0%増の93億円を見込んでいます。

2011年度の売上高予想は上記のとおりですが、この国難ともいえる難局において、当社は、製品・商品のタイムリーかつ安定的な供給に全力を尽くしていくことで、社会的責任、使命を果たしてまいります。

2011年度 第2四半期の利益予想 (単位：百万円)

予想のポイント



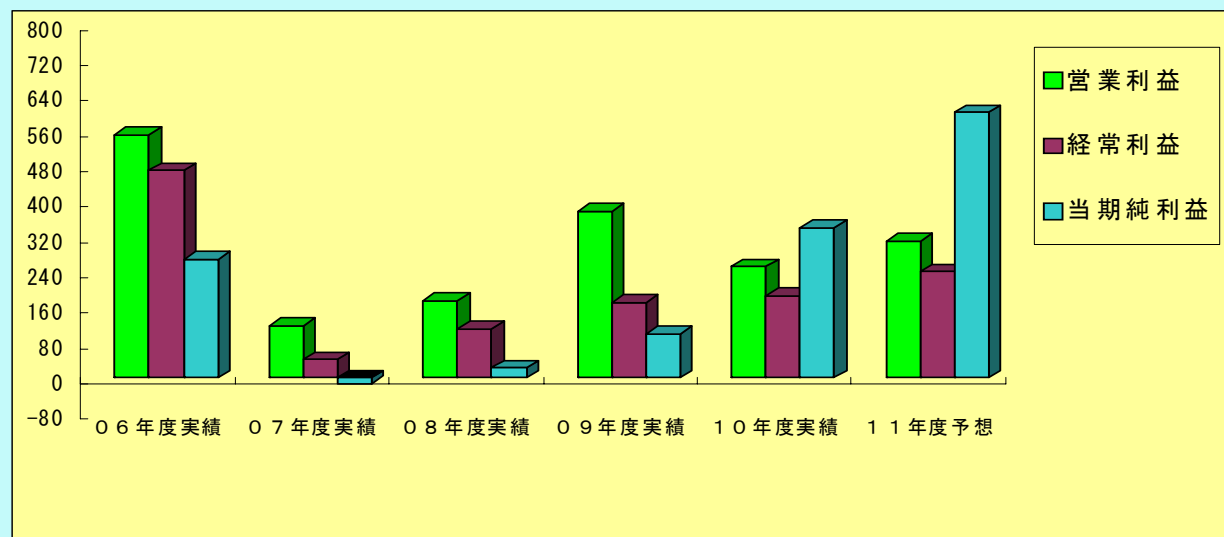
2011年度第2四半期は、原子力災害対策用呼吸用保護具の受注増による売上高の増加が見込まれることから、営業利益、経常利益ともに黒字となり、第2四半期純利益も、旧東京事業所の土地及び建物の譲渡に伴う特別利益を計上することから、大幅な増益を見込んでいます。

単位：百万円、小数点未満四捨五入

	06年度実績	07年度実績	08年度実績	09年度実績	10年度実績	11年度予想
営業利益	314	50	△108	16	△4	50
経常利益	295	11	△140	△14	△31	20
第2四半期純利益	154	△22	△124	△7	△23	480

2011年度 通期の利益予想 (単位：百万円)

2011年度通期においても、震災復興及び原子力災害対策の受注により、売上高の増加が見込まれるため、営業利益、経常利益、当期純利益とも増益を見込んでいます。



単位：百万円、小数点未満四捨五入

	06年度実績	07年度実績	08年度実績	09年度実績	10年度実績	11年度予想
営業利益	551	118	173	376	251	310
経常利益	469	41	110	317	185	240
当期純利益	268	△13	22	190	340	600